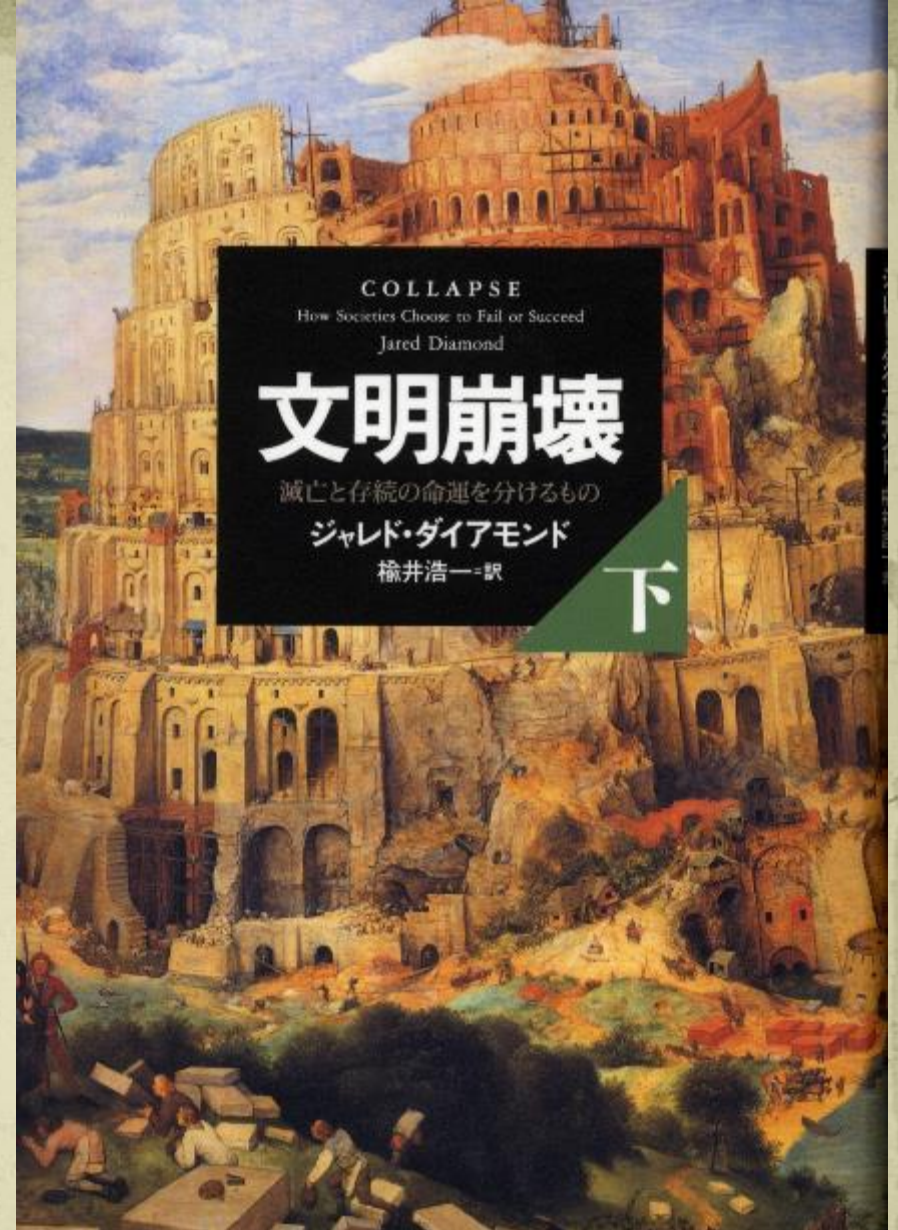
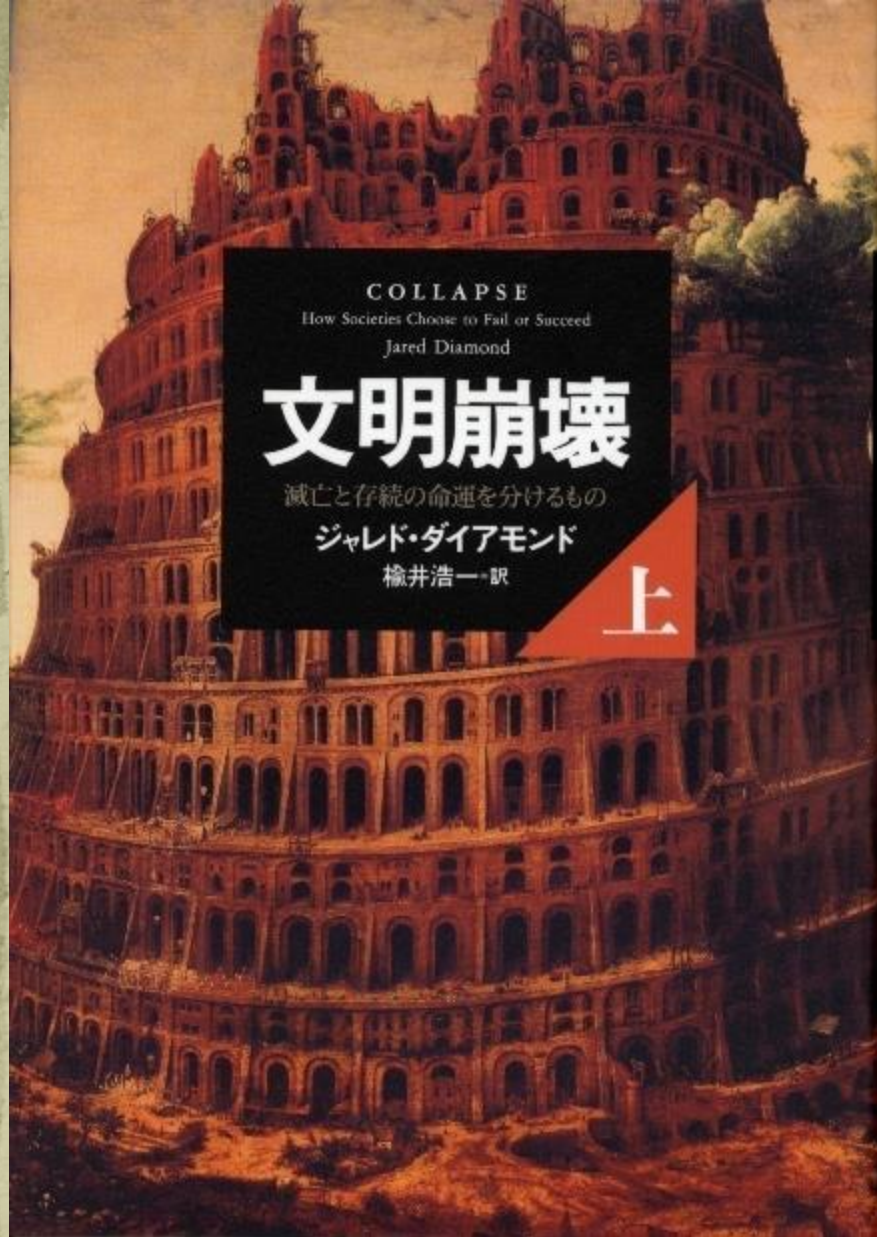
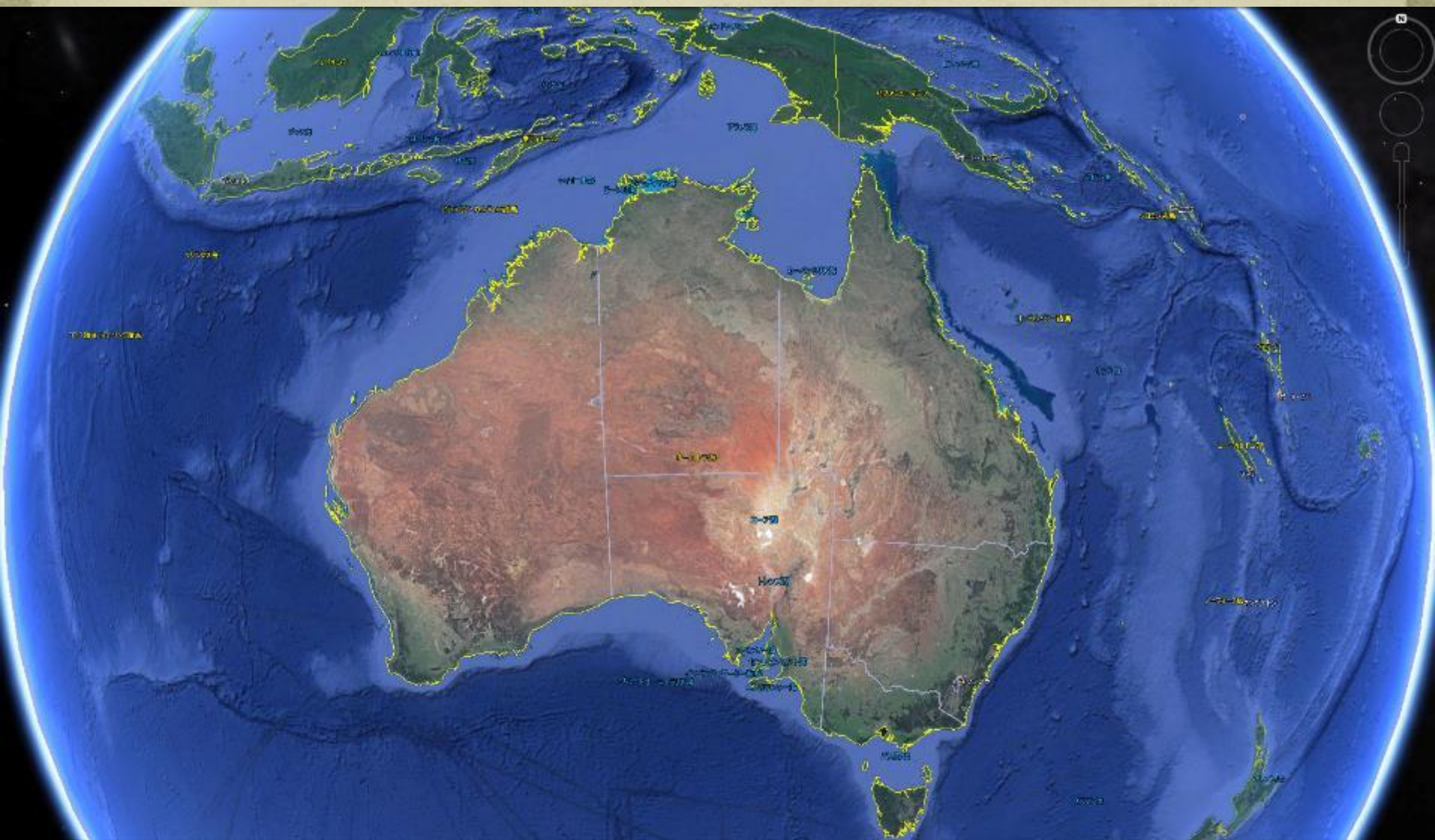




2005年12月刊 草思社



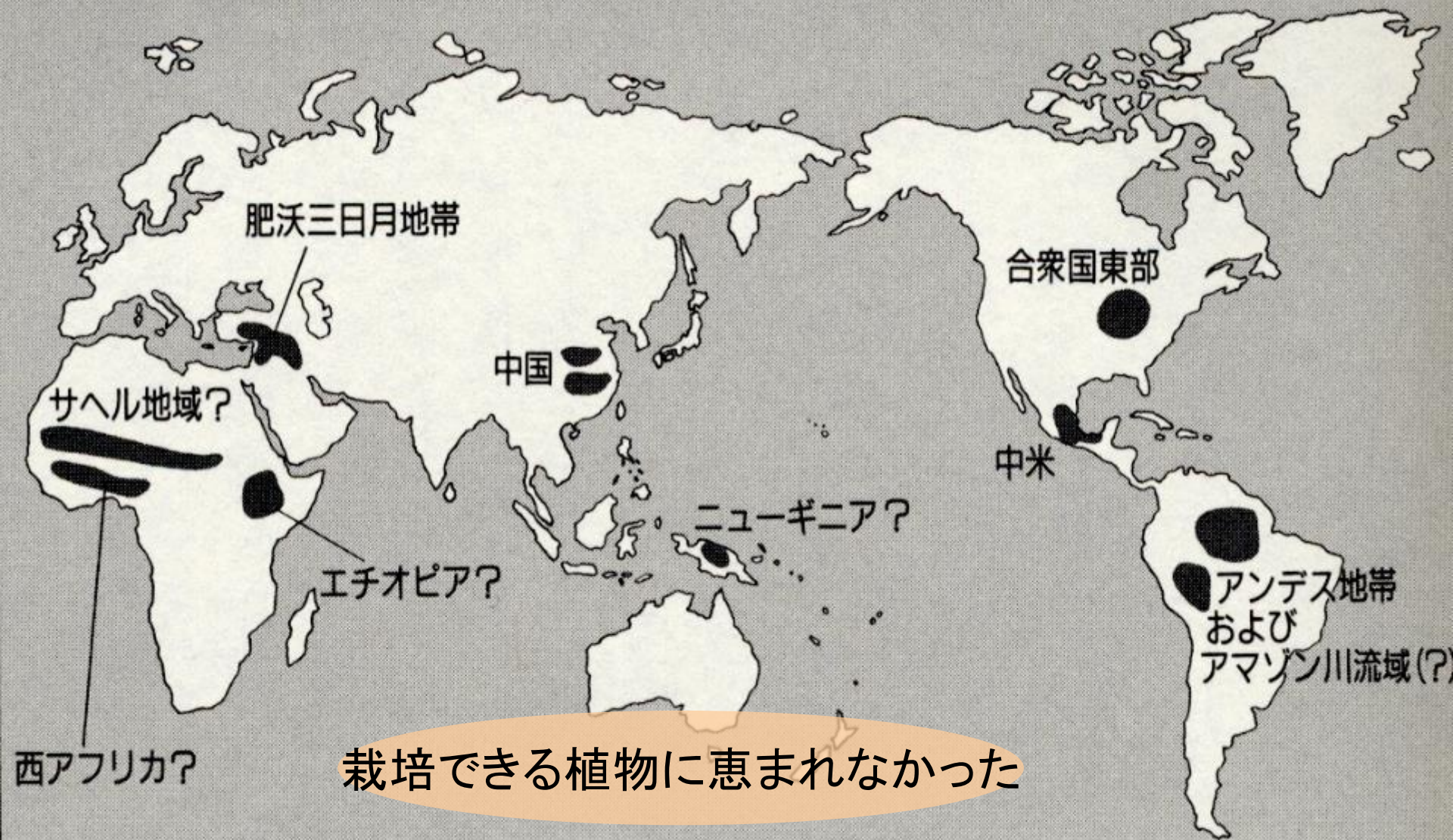
項目	データ
面積	769万2,024平方キロメートル（日本の約20倍、アラスカを除く米とほぼ同じ）
人口	約2,294万人（2013年3月。豪州統計局）
首都	キャンベラ（人口約37万人 [2012年6月。豪州統計局]）
民族	アングロサクソン系等欧州系が大半を占める。中東系、アジア系、先住民など。
言語	英語
宗教	キリスト教64%、無宗教19%（2006年国勢調査）

大田区の人口
361,857

知ってる都市はいくつありますか？



どんな文明が育つでしょうか？



食料の生産が独自に始まった地域



南北アメリカ大陸

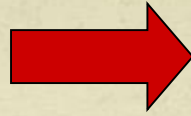
ユーラシア大陸

アフリカ大陸

増えすぎて困ってます！



イギリスからの入
植者が持ち込んだ
ウサギが大繁殖



牧草地の植生の
半分を消費



年月	略史
1770年	英国人探検家クックが現在のシドニー郊外、ボタニー湾に上陸、英国領有宣言。
1788年	英国人フィリップ海軍大佐一行、シドニー湾付近に入植開始、初代総督に就任。
1901年	豪州連邦成立（六つの英国植民地が憲法を制定。連邦制を採用）。（現在6州2特別地域）
1942年	英国のウェストミンスター法受諾（英国議会から独立した立法機能取得）。

オーストラリア大陸に与えられた運命



文字通りの意味の**採掘**(**マイニング**)ー石炭・鉄などの採掘ーは、今日のオーストラリア経済の要であり、輸出収入のなかで最大の割合を占める。

しかし、比喩的な意味の**搾取**(**マイニング**)も、オーストラリアの環境史と現在の苦境の要になっている。

オーストラリア大陸に与えられた運命

1. 土

栄養分がない

数十億年の間に雨で栄養分が浸出してしまったあとの古い土壌

火山活動がない

氷河の前進・後退もない

地殻の隆起もない



オーストラリア大陸に与えられた運命

1. 土

オーストラリアの小麦地帯では、ほぼすべての栄養分を肥料で人工的に加えている

数十億年の間に雨で栄養分が浸出してしまったあとの古い土壌

「巨大な植木鉢」



オーストラリア大陸に与えられた運命

2. 水

降雨量が少ない

エルニーニョに左右され
降雨量の予測が不可能



オーストラリア大陸に与えられた運命

3. 距離

他国から遙かに遠く輸出入に不利

国内でも定住地は散在



オーストラリア大陸に与えられた運命

1. 土

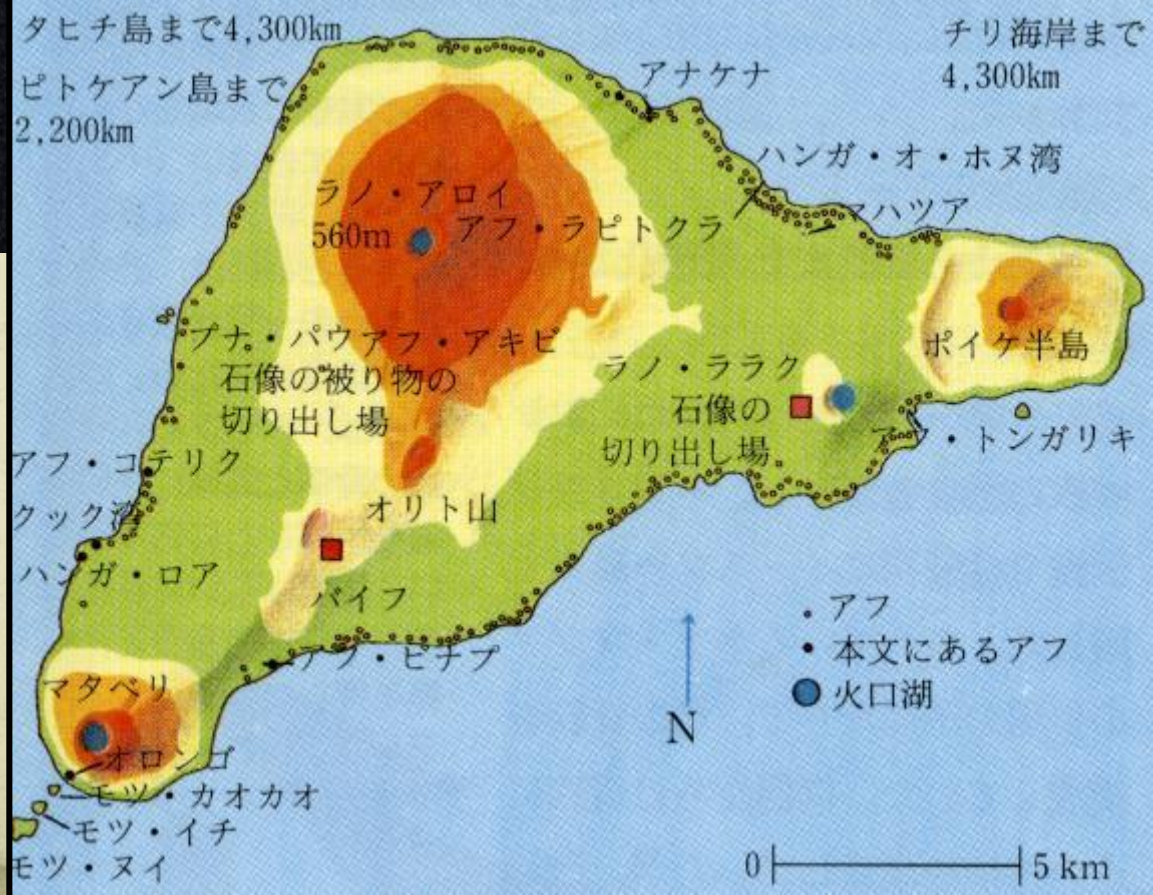
もっとも不運な大陸

2. 水

3. 距離



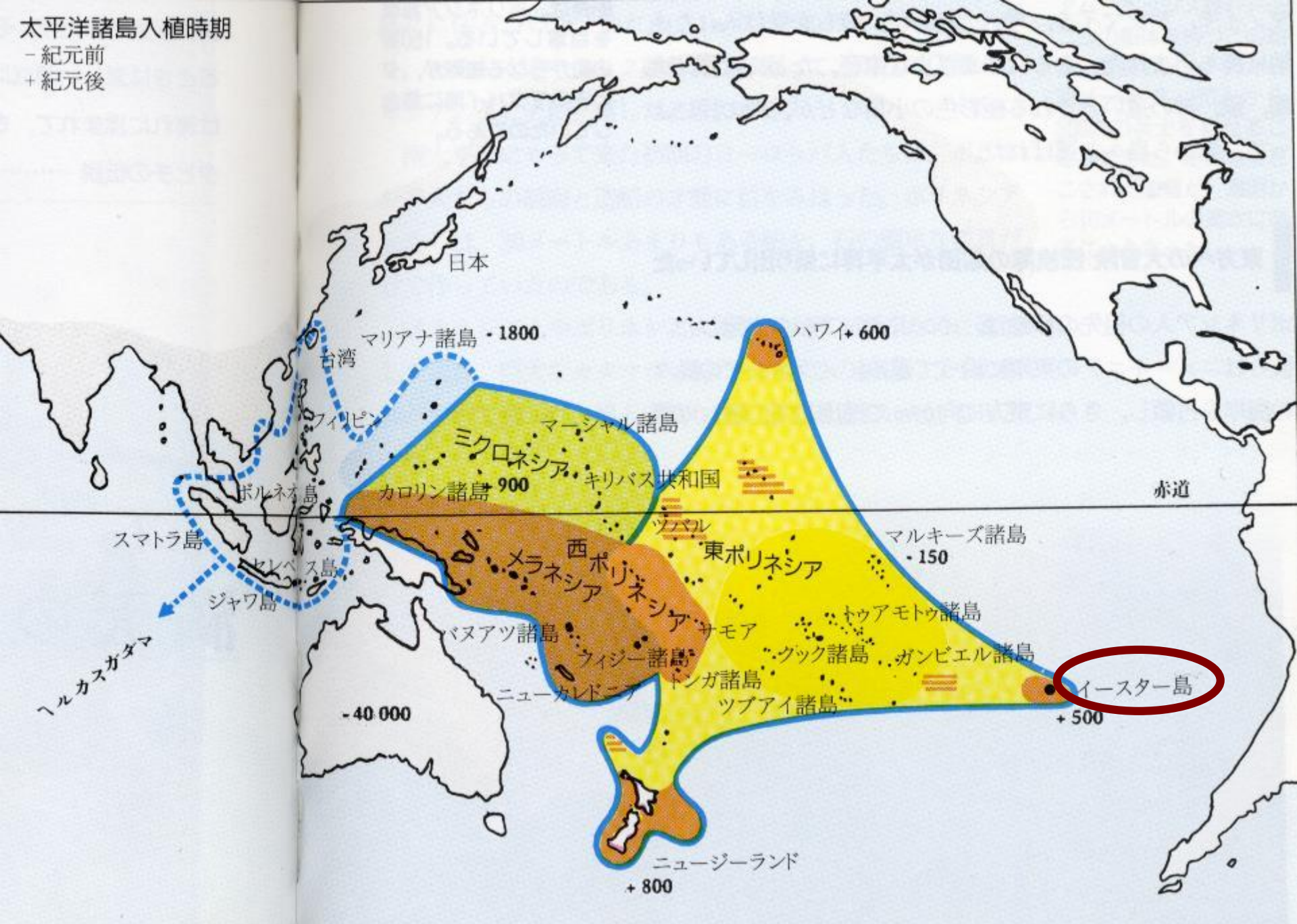
つぎは はるかに小さなこの島へ...



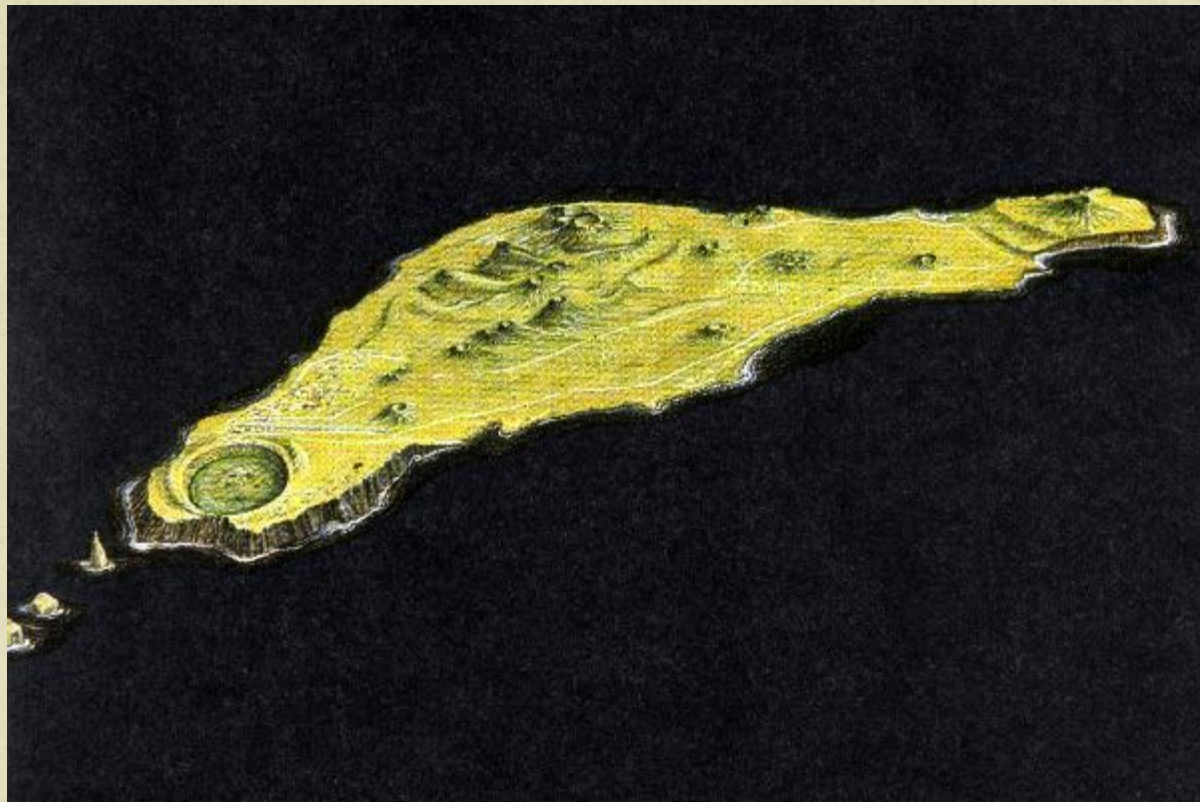
太平洋諸島入植時期

- 紀元前

+ 紀元後



イースター島に与えられた運命





イースター島

1722年4月5日にヨーロッパ人到着

樹木のない不毛の島に
2～3千人の島民がいただけ



高度なモアイ文明は
なぜ滅びたのか？

考古学者たちが解明したこと

900年頃、ポリネシア人が入植

最盛期の人口 15000人？

タロイモを育て、鶏を飼う集約農業

12の領地に分かれ、それぞれに首長と平民がいる

首長同士競い合って、より
大きなモアイ像を建てよう
とエスカレート



花粉分析で判明したこと

(プリント参照)

かつては**巨大ヤシ**の繁る亜熱帯性雨林の島だった！

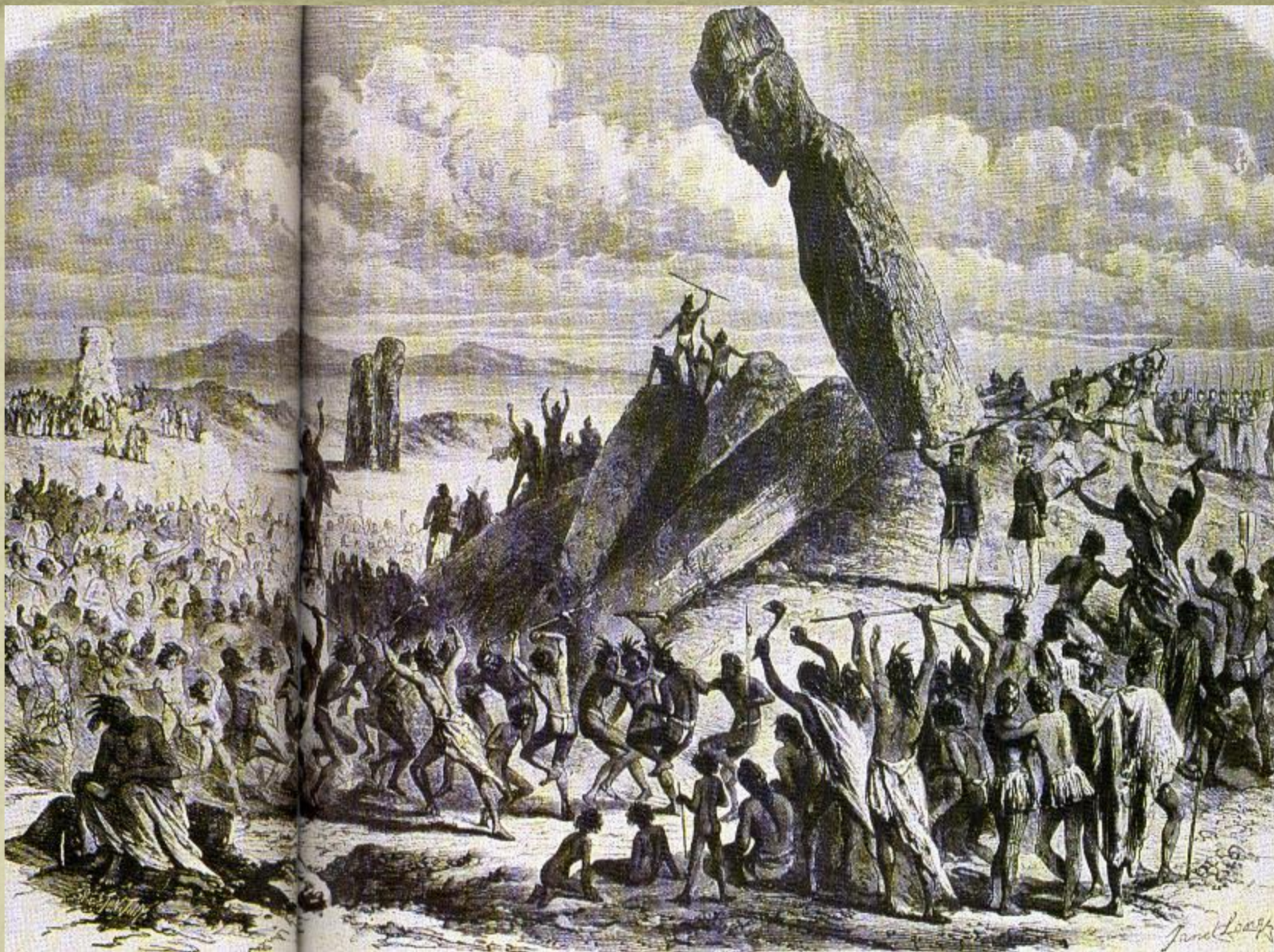


入植した人々による
木材の大量消費



森林破壊により
モアイ文化滅亡



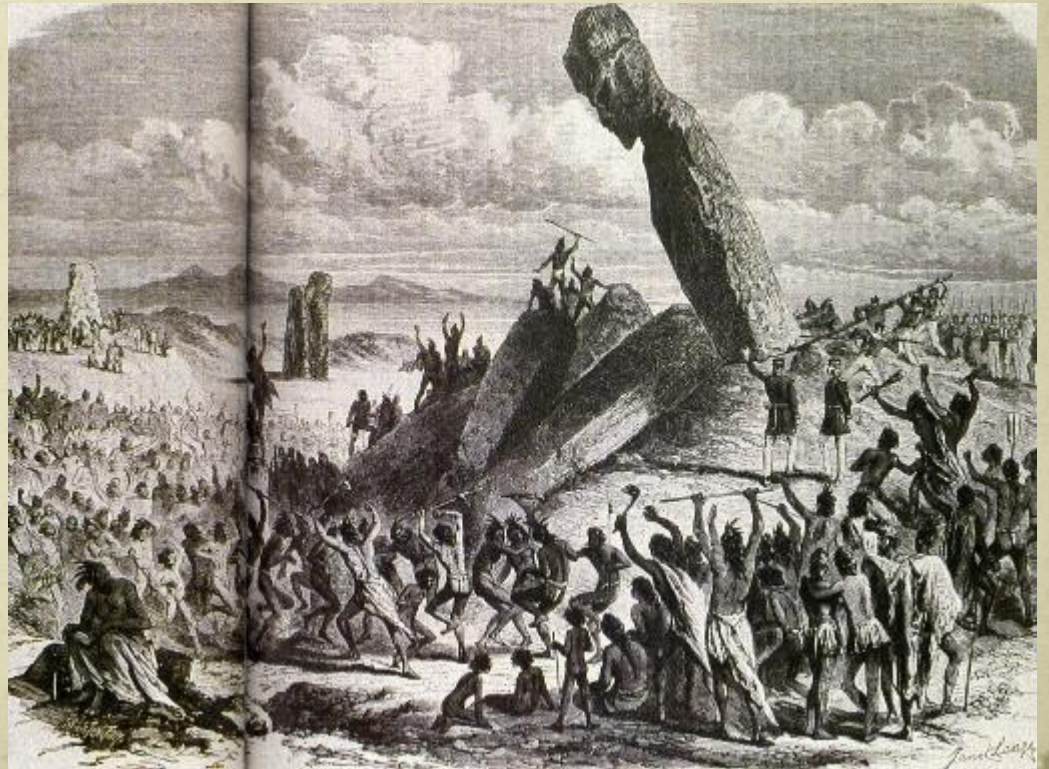


部族抗争の中で倒されゆくモアイ

「ミルを！」

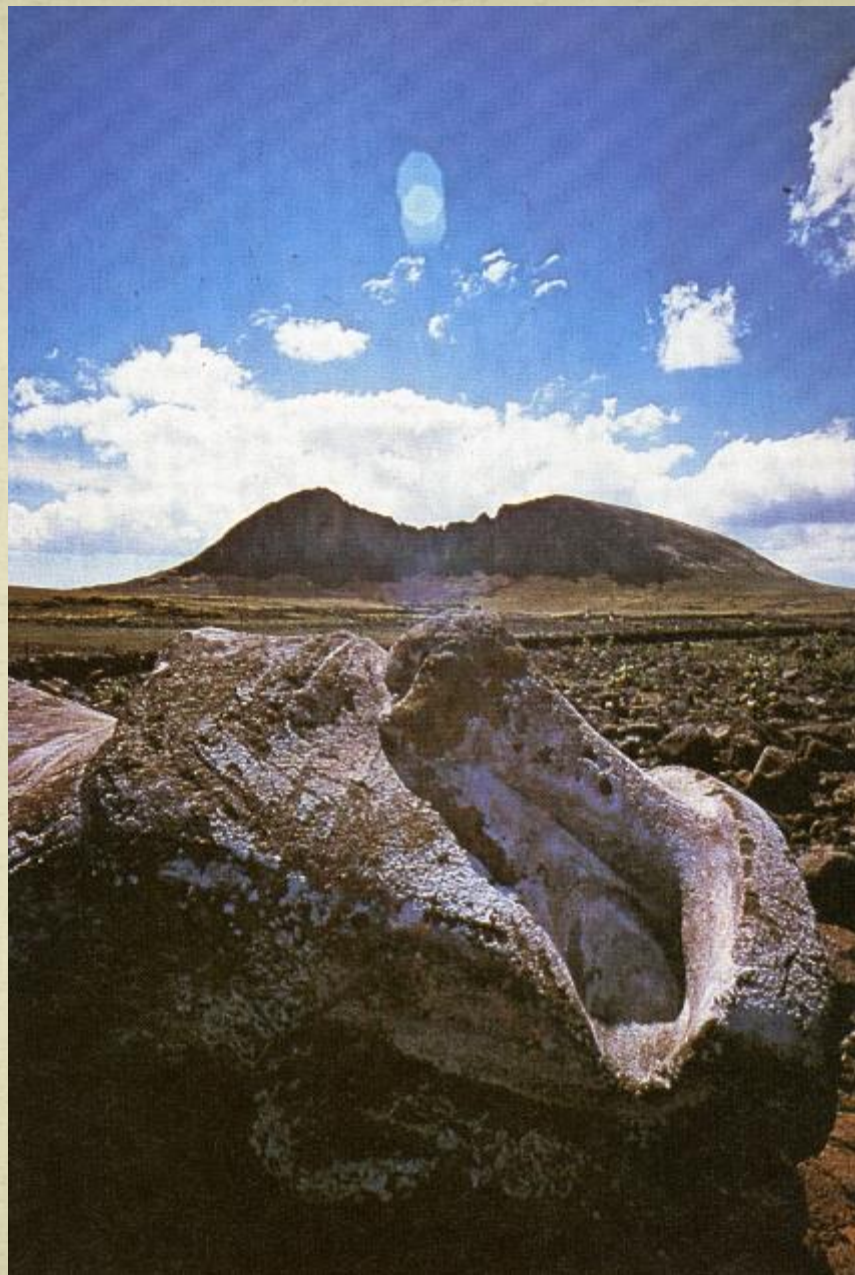
フランス人にカヌー用の木材を熱望した島民たち

(プリント参照)



しかし、この悲劇は島民が愚かだったからではない。

不運なことに、他のポリ
ネシアの島々と異なり、
イースター島は寒冷で
雨が少ないという、とて
も脆弱な環境にあった。





今、島は禿げ山

最後の一本のヤシを切り倒した島民は何を思ったろうか？

風景健忘症ということ (プリント参照)



さいごは極北の地へ・・・



ロングハウス

芝土で屋根を葺く



海の勇者 ヲァイキング



グリーンランドに入植したヴァイキングたちの運命



984年から15世紀のある時点までおよそ500年間、スカンディナヴィア人たちは、大聖堂を建て、ものを書き、鉄器を使いこなし、家畜を追い、最新のヨーロッパの服装を採り入れ……やがて忽然と姿を消した。



考古学者が西入植地で見つけたモノ

小鳥やウサギの骨
生後まもないウシやヒツジの骨



食料欠乏

ハエ

古い層には温暖さを好む種
最上層は寒さに耐性のある種



燃料欠乏



滅亡の原因

1. 環境侵害
2. 気候変動
3. ノルウェー本国との友好的な接触の減少
4. イヌイトとの敵対的な接触の増大
5. 保守的な世界観

魚を食べない！



結果として、彼らは手つかずの潤沢な食糧資源に囲まれて餓死した。

愚か、だろうか？



彼らは自分たちを牧人であり、キリスト教徒であり、何よりノルウェー人であると考えていた。祖先は三千年にわたって、豊かに牧畜を営んできた。

その共有されたノルウェー人意識がなかったら、グリーンランドで力を合わせて生き延びることはできなかっただろう。

しかし、その価値観が最後に彼らの足を引っ張った。



まとめます。

オーストラリア大陸に与えられた運命

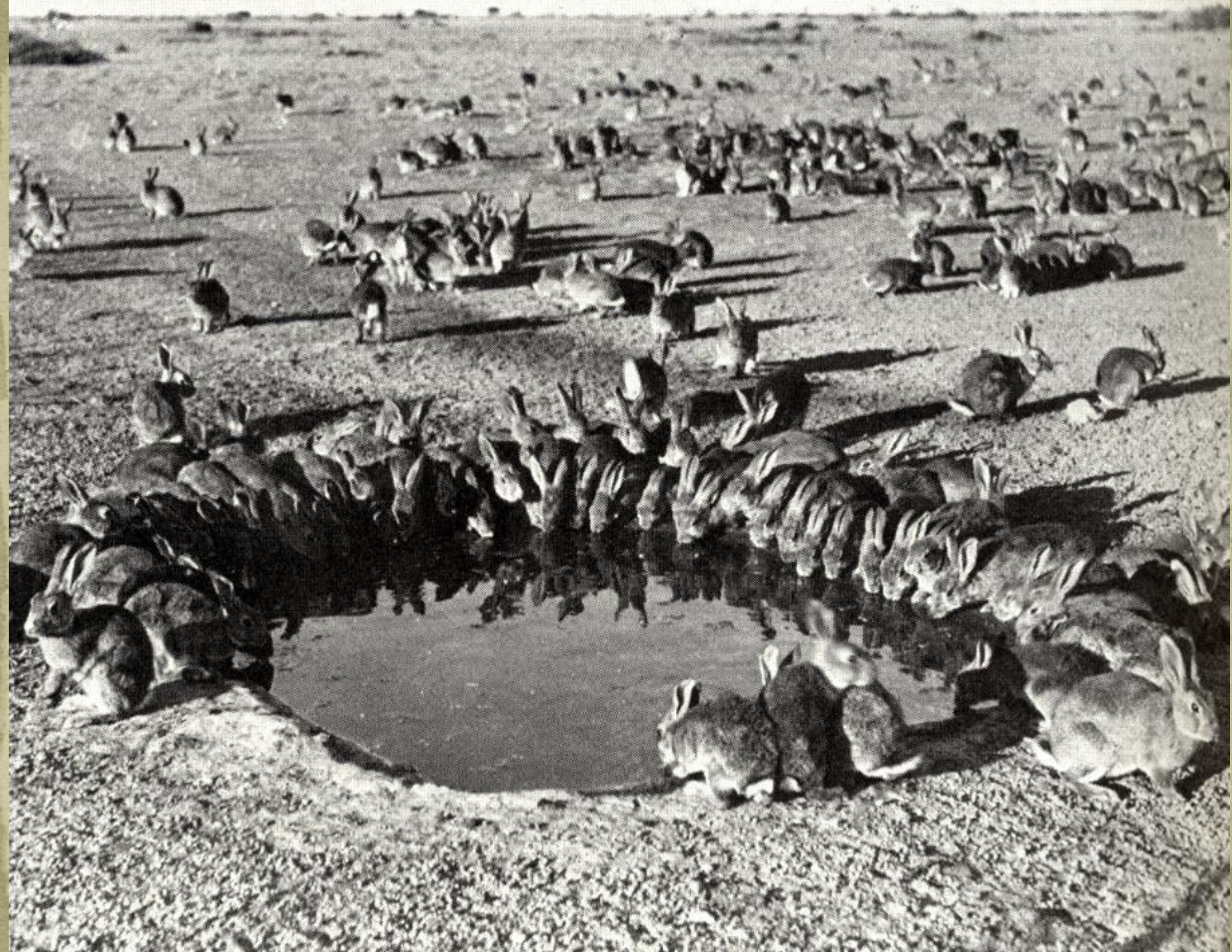
1. 土

もっとも不運な大陸

2. 水

3. 距離





イースター島に与えられた運命

かつては**巨大ヤシ**の繁る亜熱帯性雨林の島だった！

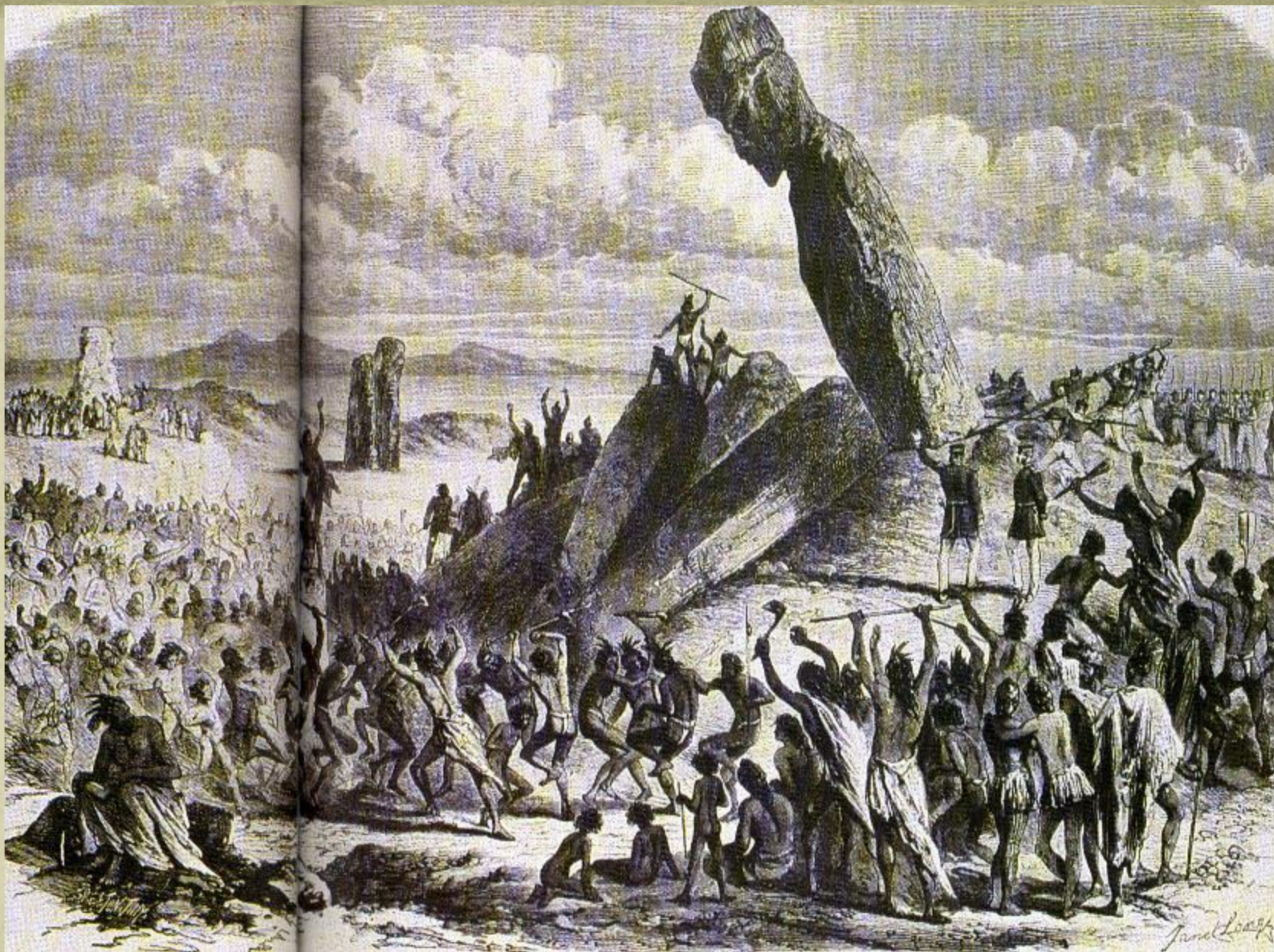


入植した人々による
木材の大量消費

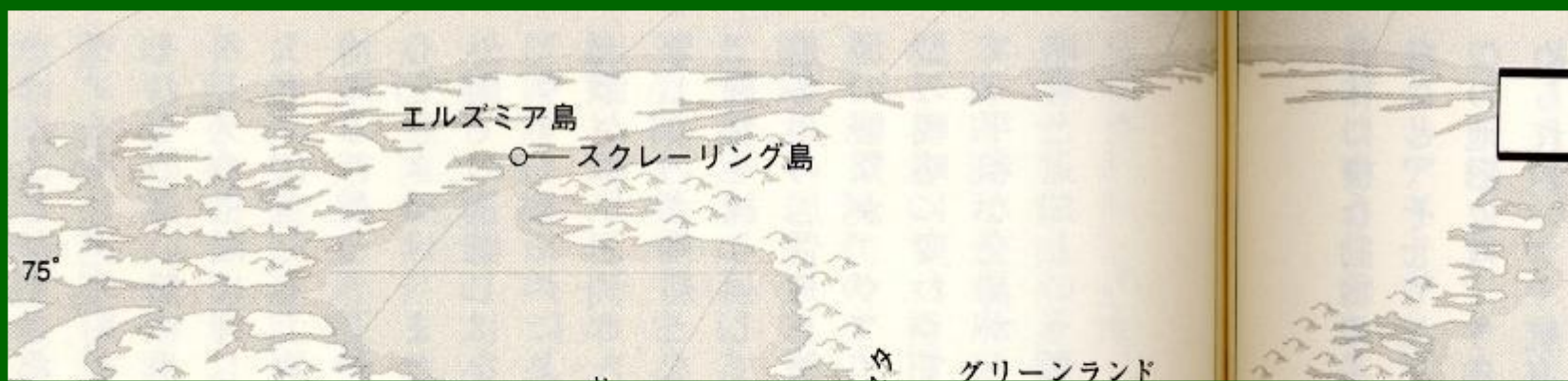


森林破壊により
モアイ文化滅亡

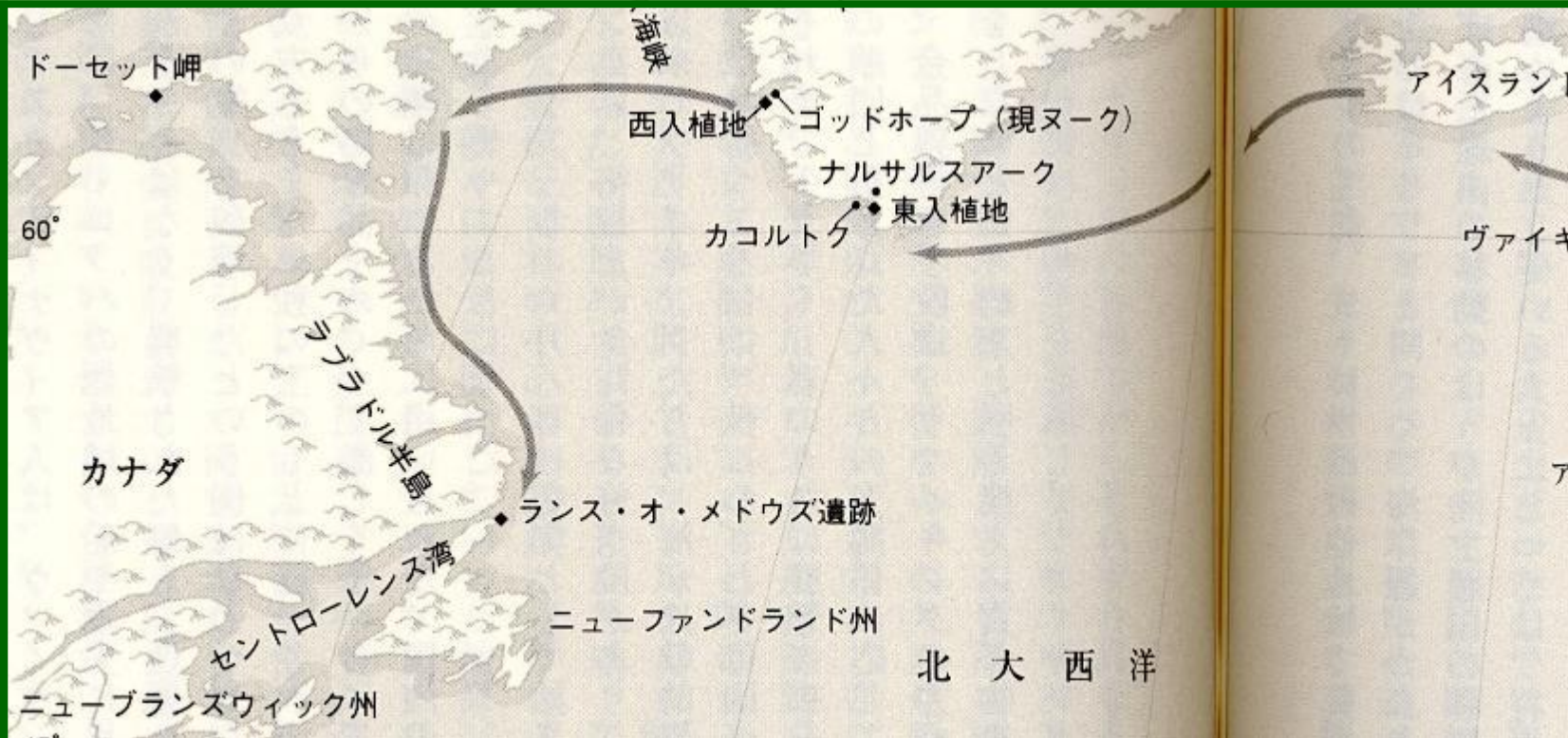




部族抗争の中で倒されゆくモアイ



グリーンランドに入植したヴァイキングたちの運命



彼らは自分たちを牧人であり、キリスト教徒であり、何よりノルウェー人であると考えていた。祖先は三千年にわたって、豊かに牧畜を営んできた。

その共有されたノルウェー人意識がなかったら、グリーンランドで力を合わせて生き延びることはできなかっただろう。

しかし、その価値観が最後に彼らの足を引っ張った。



三つの島、三つの運命

オーストラリア	都市型の文明が繁栄
イースター島	ほぼ滅びたが わずかに残った
グリーンランド	完全に滅びた

違いが生じたのは、なぜ？

オーストラリア大陸に与えられた運命

1. 土

オーストラリアの小麦地帯では、ほぼすべての栄養分を肥料で人工的に加えている

「巨大な植木鉢」

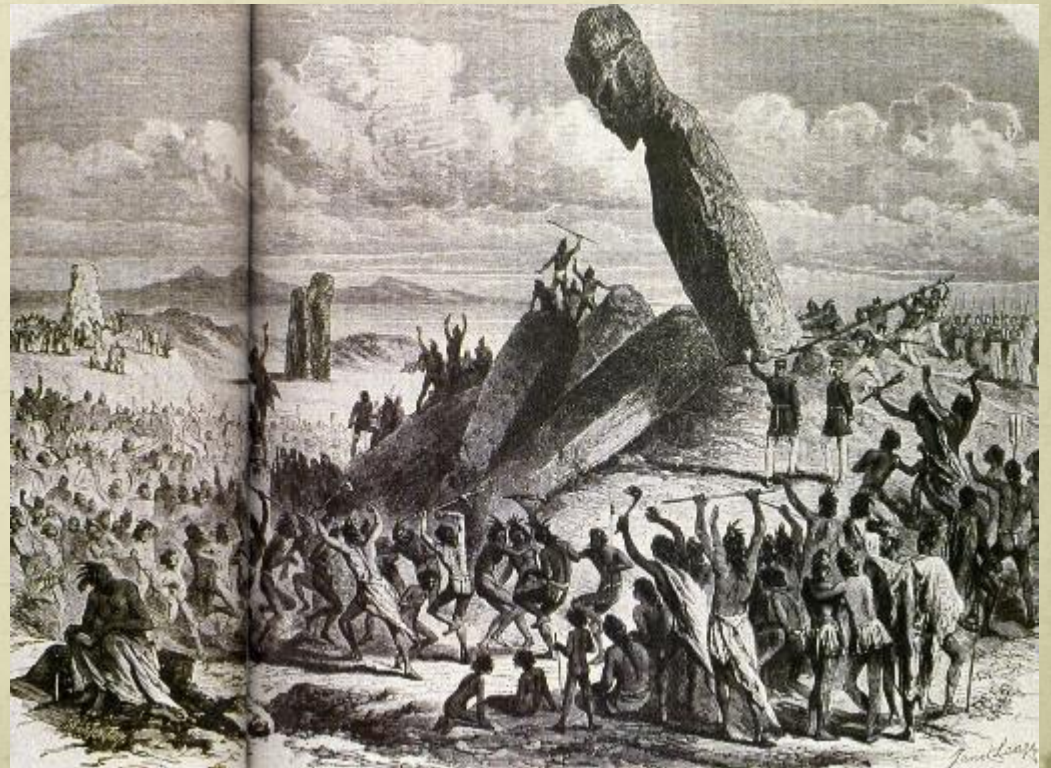


「ミルを！」

フランス人にカヌー用の木材を熱望した島民たち



わずかながら他のポリ
ネシアの島々と
連絡があった可能性



東入植地がいつ消滅したのか、正確なことはわからない。
1400年から1420年の間、北大西洋が寒く、風も強くなって、
グリーンランドへの航海の記録は途絶える。



母体からの支援の強弱が要因では？

オーストラリア	都市型の文明 が繁栄	
イースター島	ほぼ滅びたが わずかに残った	
グリーンランド	完全に滅びた	

母体からの支援の強弱が要因では？

オーストラリア	都市型の文明 が繁栄	母国イギリスからの 強力な支援◎
イースター島	ほぼ滅びたが わずかに残った	近隣の島々からの わずかな支援△
グリーンランド	完全に滅びた	完全に孤立 ×

とすると、われわれは、
とても**皮肉**な事態に
立ち会うことになる。



ウサギだらけにしちゃったけど

手あつい支援もしたイギリス

イースター島に与えられた運命

かつては**巨大ヤシ**の繁る亜熱帯性雨林の島だった！



入植した人々による
木材の大量消費



森林破壊により
モアイ文化滅亡

ヤシを浪費するけど

支援もしたポリネシア文化



彼らは自分たちを牧人であり、キリスト教徒であり、何よりノルウェー人であると考えていた。祖先は三千年にわたって、豊かに牧畜を営んできた。

その共有されたノルウェー人意識がなかったら、グリーンランドで力を合わせて生き延びることはできなかっただろう。

しかし、その価値観が最後に彼らの足を引っ張った。

本国から助けの船は来なかった・・・



束縛にも、支援にもなる母体の文化

オーストラリア	都市型の文明 が繁栄	母国イギリスからの 強力な支援 
イースター島	ほぼ滅びたが わずかに残った	近隣の島々からの わずかな支援 
グリーンランド	完全に滅びた	完全に孤立 

崩壊のシナリオ を作成する！

フローチャートにする
タイトルつける

など見やすい工夫を

